

高等部 1年生 国語 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名 (仮)
ア 言葉の特徴や使い方	
(ア) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 教科別の指導 作業学習	・B 小4下 P78 ・C 小4上 P124
(イ) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すこと。 教科別の指導 作業学習	・A 小3・4下
(ウ) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つこと。 教科別の指導 生活単元学習 作業学習	
(エ) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解すること。 教科別の指導	・A 小3下 ・C 小3下 P110 ・C 小3上 P126 ・C 小4上 P58
(オ) 接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 教科別の指導	小4下:P28~つなぐ言葉の働き ・B 小4下 P78
(カ) 日常よく使われる敬語を理解し使うこと。 教科別の指導 作業学習	小5:P114~敬語の使い方 ・B 小4上 ・B 小4下 P54
(キ) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。 教科別の指導	小4上:P16~想像したことを音読で表そう※C 小4上:P110~詩を読もう※C 小4上:P110~詩を読もう※C 小4上:P110~詩を読もう※C 小4上:P110~詩を読もう※C 小4上:P110~詩を読もう※C
イ 話や文章の中に含まれている情報の扱い方	
(ア) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解すること。 教科別の指導 作業学習	・A 小4上 ・B 小4下 P54
(イ) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うこと。 教科別の指導 生活単元学習	小3上:P34~国語じてんの使い方 ・B 小3・小4上 ・C 小3・4下
ウ 我が国の言語文化	
(ア) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うこと。 教科別の指導	小3上:P86~慣用句を使おう 小4上:P80~ことわざと故事成語
(イ) 書くことに関する次の事項を取り扱うこと。 ⑦ 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。 教科別の指導 作業学習 生活単元学習	書写小3・4(ア)対応
(ウ) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 教科別の指導 生活単元学習	小3上:P30~図書館へ行こう 小3上:P102~本は友だち 小4上:P28~図書館へ行こう 小4上:P100~本は友達
A 聞くこと・話すこと	
ア 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えること。	小3上:P50~メモを取りながら話を聞こう 小4上:P46~たしかめながら話を聞こう
イ 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	小3下:P26~話したいな、わたしの好きな時間※A イ 小4下:P98~調べたことをほうこくしよう※A ウ
ウ 話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	小3下:P26~話したいな、わたしの好きな時間※A ア 小4下:P98~調べたことをほうこくしよう※A イ
B 書くこと	
ア 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすること。	小3上:P12~くらべてみよう 小4上:P12~グループにまとめて整理しよう
ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	小4下:P54~「ふるさとの食」を伝えよう 小4下:P78~言葉で考えを伝える
エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。	小4上:P74~お願いやお礼の手紙を書こう
C 読むこと	
ア 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えること。	小3下:P110~物語のしかけをさがそう
ウ 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像すること。	小3上:P112~詩を読もう 小3上:P126~人物に伝えたいことをまとめよう 小4上:P16~想像したことを音読で表そう 小4上:P58~人物の変化をとらえよう 小4上:P110~詩を読もう 小4上:P124~物語の題名の意味を考えよう
エ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	小3下:P8~パラリンピックについて調べよう 小4下:P8~くらしの中の「和」と「洋」について調べよう

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

国語に関しては、知識・技能で、その取り扱いを示しているが、それに対応する思考力・判断力・表現力等を選択して、資質・能力がバランス良く育むことができるようにする。